

林業公社の経営安定化に対する支援について

【農林水産省・林野庁・総務省】

提案・要望の内容

地球温暖化防止をはじめ、森林の有する多面的機能を持続的に発揮する「美しい森林づくり」を推進するため、長伐期施業等に取り組む林業公社に対する支援策を充実すること。

- 1 農林漁業金融公庫資金の既往債務について、長伐期施業に対応した償還時期が長く、低利の資金制度を創設すること。
- 2 県が行う林業公社への貸付金の無利息化や利子助成に対する特別交付税措置の交付税算入率の引き上げを行うこと。
- 3 長伐期化などの新たな施業への転換に伴う分収契約の変更等を円滑に実施するための法・税制度等を整備すること。
- 4 森林整備活性化資金の融資対象事業の拡大を行うこと。

【現状と課題】

○地球温暖化防止対策に向けた森林の適切な整備・保全の推進

- ・国では「地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策」を策定し、森林の有する多面的機能の観点から長伐期施業などの多様で健全な森林づくりを推進している。
- ・林業公社は、長期間にわたる森林管理の重要な担い手として期待されている。

○伐期の長期化による管理経費の増大

- ・林業公社でも経営林の長伐期化を進めているが、これに伴う変更契約及び変更登記費用、並びに、維持管理経費の増大に苦慮している。

○木材価格の低落による経営環境の悪化

- ・分収林事業の収支は木材価格に大きく左右され、最近の木材価格を元に試算した長期収支予測では、最終的に多額の収入不足額の発生が予想される。

【本県の取組状況・方針】

○長伐期施業の推進

- ・森林吸収源10ヶ年対策に基づき、本県においても多様で健全な森林づくりに向けた森林の整備・保全を推進しており、林業公社経営林において長伐期施業への転換を推進している。

○林業公社の経営改善策を積極的に支援

- ・「林業公社経営計画（H16～H25）」に基づき、長伐期施業を担う林業公社に対して経営改善策（長伐期転換補助金・貸付金の無利子化など）の支援を行っている。

【提案・要望の効果】

- 林業公社の経営安定化により、適正な森林の保全・管理が図られ、二酸化炭素吸収源確保による地球温暖化防止など、今後益々重要性を増す森林の持つ多面的機能の持続的発揮が可能となる「美しい森林づくり」が推進される。

～林業公社の経営安定化と森林の持つ多面的機能の発揮～

